

求められる生成AIに対処する制度



月尾 嘉男

古代から虚偽の情報は社会を混乱させてきた。最近の生成AIという情報技術の進歩も新規の問題を発生させている。新技術が社会問題をもたらすと、社会は解決する制度を後追いで作成してきたが、現状では生成AIが発生させる社会問題を制御する制度は存在しない。

今年1月に逝去されたロボット工学の大家である森政弘東京工業大学名誉教授は1988年からNHKが主催する「全国高等専門学校ロボットコンテスト（高専ロボコン）」を誕生させた学者であるが、広範な視点から技術を俯瞰して「刃物は利用方法によってメスにもなるがドスにもなる」という技術の本質を喝破した名言を発言しておられる。

衆を扇動する人物を意味する言葉「デマゴーグ」が派生した。

それが社会に重大な影響をもたらした事例は紀元前5世紀のギリシャでアテナイとスパルタという二大都市国家が対立したペロポネソス戦争である。アテナイの軍隊を指揮したクレオンという人物はスパルタとの和平に反対したデマゴーグで、民衆を扇動して戦争を継続し、結果としてアテナイは地域での覇権を喪失してクレオンも戦死した。

このメスにもドスにもなる技術の代表は情報で、古代から虚偽の情報は社会を混乱させてきた。この虚偽の情報を発信する人間は古代ギリシャの言葉で「デマゴーグ」と名付けられているが、その語源は民衆を意味する古代ギリシャの言葉「デモス」で、そこから民衆を扇動する人物を意味する言葉「デマゴーグ」が派生した。

日本でも間違った情報がある。1923年に発生した関東地震では朝鮮人が暴動を開始したとの間違った噂話が流布し、相当の人数が殺傷されるという事件が発生しているし、人的被害にはならなかったが、1973年には石油危機の影響でトイレットペーパーが不足するという噂話による騒動が発生したこともある。

最近の生成AIという情報技術の進歩も新規の問題を発生させている。東北地方を中心に都市にクマが出没するようになっていくが、クマが郊外に設置されたソーラーパネルを破壊している映像や老人が野生のクマを餌付けしている映像が動画共有アプリに投稿されている。ただし大半は生成AIで作成した仮想の映像である。

オックスフォード英語辞典は新語が社会に定着しはじめた時期に採択して掲載しているが、2016年に「ポスト・トゥルース」を

採択した。イギリスのEU離脱国民投票とアメリカの大統領選挙戦に関係する正確ではない、場合によっては意図して間違えた個人が発信する情報が氾濫し、それを「ポスト・トゥルース」と表現したのである。

メスとして開発された技術が当初はドスとなる事例は多数存在する。グーテンベルクが活版印刷技術を発明した結果、多数の人々が印刷された聖書を手に入れるようになった。宗教改革の発端となった。馬車より高速で走行する自動車が登場して不慣れた歩行者が自動車事故に遭遇し、自動車の速度規制をする赤旗法が制定されたという事例もある。

このように新規の技術が社会問題をもたらすと、社会は解決する制度を後追いで作成してきたが、現状では生成AIが発生させる社会問題を制御する制度は存在しない。未知の大海を海図なしで航海している状況であるが、次々と登場する情報技術、とりわけ人間の本質に関与する生成AIに対処する制度の検討が必要である。

つきお・よしお 1942

年生まれ。東京大学工学部卒業、東京大学教授、総務省総務審議官などを経て、現在は東京大学名誉教授。